

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年4月26日 (2018.4.26)

【公表番号】特表2017-513516(P2017-513516A)

【公表日】平成29年6月1日 (2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2017-501094(P2017-501094)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 9/80 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/337 (2006.01)

A 6 1 K 31/282 (2006.01)

A 6 1 K 31/675 (2006.01)

A 6 1 K 31/7068 (2006.01)

A 6 1 K 33/24 (2006.01)

A 6 1 K 31/44 (2006.01)

A 6 1 K 31/404 (2006.01)

A 6 1 K 31/436 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 K 31/4706 (2006.01)

A 6 1 K 31/52 (2006.01)

A 6 1 K 31/351 (2006.01)

A 6 1 K 31/4178 (2006.01)

A 6 1 K 31/35 (2006.01)

A 6 1 K 31/475 (2006.01)

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 K 31/155 (2006.01)

A 6 1 K 31/05 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 9/80 Z N A Z

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/10

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/337

A 6 1 K 31/282

A 6 1 K 31/675

A 6 1 K 31/7068

A 6 1 K 33/24

A 6 1 K 31/44
A 6 1 K 31/404
A 6 1 K 31/436
A 6 1 P 35/00
A 6 1 P 35/02
A 6 1 K 31/4706
A 6 1 K 31/52
A 6 1 K 31/351
A 6 1 K 31/4178
A 6 1 K 31/35
A 6 1 K 31/475
A 6 1 K 31/352
A 6 1 K 31/155
A 6 1 K 31/05

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月16日(2018.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 微生物に由来する A D I タンパク質の触媒ドメイン及び第 2 微生物に由来する A D I タンパク質の ヘリックスドメインを含む、組換えキメラアルギニンデイミナーゼ (A D I)。

【請求項 2】

第 1 微生物が、*Mycoplasma gallinarum*、*Mycoplasma iners*、及び *Mycoplasma columbinum* から成る群から選択され、第 2 微生物が、*Mycoplasma gallinarum*、*Mycoplasma iners*、及び *Mycoplasma columbinum* から成る群から選択される、請求項 1 に記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 3】

第 1 微生物が *M. gallinarum* であり、第 2 微生物が *M. columbinum* である、請求項 2 に記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 4】

第 1 微生物が *M. gallinarum* であり、第 2 微生物が *M. iners* である、請求項 2 に記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 5】

第 1 微生物が *M. columbinum* であり、第 2 微生物が *M. iners* である、請求項 2 に記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 6】

第 1 微生物が *M. iners* であり、第 2 微生物が *M. columbinum* である、請求項 2 に記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 7】

第 1 微生物が *M. columbinum* であり、第 2 微生物が *M. gallinarum* である、請求項 2 に記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 8】

第 1 微生物が *M. iners* であり、第 2 微生物が *M. gallinarum* である、

請求項 2 に記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 9】

組換えキメラ A D I が、配列番号：55、56、35、58、34若しくは59のいずれか 1 つに示すアミノ酸配列、又はそれと少なくとも 90 % の配列同一性を有するバリエーションを含む、請求項 2 に記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 10】

少なくとも 1 つのリジン残基が、アミノ酸置換により修飾されている、好ましくは、少なくとも 5 つ、少なくとも 10、少なくとも 15、又は少なくとも 20 のリジン残基が、アミノ酸置換により修飾されている、請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 11】

生体適合性リンカーにより、1 又は 2 以上のポリエチレングリコール分子、約 1 ~ 約 10 のポリエチレングリコール分子、又は約 5 ± 3 の PEG 分子に共有結合する、請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 12】

ポリエチレングリコールが、約 1,000 ~ 約 40,000、好ましくは約 10,000 ~ 約 30,000 の総重量平均分子量を有する、請求項 11 に記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 13】

生体適合性リンカーが、スクシニル基、アミド基、イミド基、カルバメート基、エステル基、エポキシ基、カルボキシ基、ヒドロキシ基、炭水化物、チロシン基、システイン基、ヒスチジン基、メチレン基、又はこれらの組み合わせを含む、請求項 11 に記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 14】

スクシニル基の供給源が、スクシンイミジルスクシネートである、請求項 13 に記載の組換えキメラ A D I。

【請求項 15】

請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の組換えキメラ A D I をコードするポリヌクレオチド。

【請求項 16】

請求項 15 に記載のポリヌクレオチドを含むベクター。

【請求項 17】

請求項 16 に記載のベクターを含む単離宿主細胞。

【請求項 18】

請求項 1 ~ 14 のいずれかに記載の組換えキメラ A D I 及び生理学的に許容される担体を含む組成物。

【請求項 19】

癌を処置する、その症状を改善させる、又はその進行を阻害するための薬剤の製造における、請求項 18 に記載の組成物の使用。

【請求項 20】

癌が、黒色腫、膵臓癌、前立腺癌、小細胞肺癌、中皮腫、リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、リンパ腫、肝細胞癌、肉腫、白血病、急性骨髄性白血病、再発性急性骨髄性白血病、乳癌、卵巣癌、結腸直腸癌、胃癌、神経膠腫、多形性膠芽腫、非小細胞肺癌 (NSCLC)、腎臓癌、膀胱癌、子宮癌、食道癌、脳癌、頭頸部癌、子宮頸癌、精巣癌、及び胃癌から成る群から選択される、請求項 19 に記載の使用。